

宇治市総合計画審議会  
第3回全体会  
議事要旨

宇治市

## 第3回宇治市総合計画審議会 議事要旨

<開催年月日>2021(令和3)年6月8日(火)16時～

<開催場所>オンライン会議

<出席者>

・委員

真山 達志(委員長)	同志社大学政策学部 教授
多田 ひろみ(副委員長)	宇治市女性の会連絡協議会 会長
酒井 久美子	京都ノートルダム女子大学現代人間学部 准教授
白須 正	龍谷大学政策学部 教授
塚口 博司	立命館大学理工学部 特別任用教授
築山 崇	京都府立大学 名誉教授
稲垣 勝彦	京都府山城広域振興局 局長
鶴ノ口 悟	南山城地区労働者福祉協議会 事務局長
奥西 隆三	社会福祉法人宇治市社会福祉協議会 会長
小永井 宏子	宇治市国際交流協会 副会長
城市 哲	ソフトバンク株式会社 参与
竹内 理	宇治市連合育友会 副会長
多田 重光	公益社団法人宇治市観光協会 専務理事兼事務局長
長谷川 理生也	宇治商工会議所 専務理事
服部 広志	株式会社京都銀行 宇治支店長
平田 研一	一般財団法人宇治市スポーツ協会 会長
松本 嘉一	宇治市連合喜老会 会長
吉田 利一	京都やましろ農業協同組合 副組合長理事
相川 道代	市民公募委員
下川 浩正	市民公募委員
薄田 徹	市民公募委員
高田 悦子	市民公募委員
谷口 宜秀	市民公募委員

寺川 徹	市民公募委員
日野 真代	市民公募委員
向山 ひろ子	市民公募委員
安井 大斗	市民公募委員
山本 互	市民公募委員

計 28 名

・理事者

松村 淳子	市長
川口 龍雄	副市長

・部長

秋元 尚	市長公室長
濱岡 洋史	危機管理監
貝 康規	政策経営部長
本城 洋一	総務部長
脇坂 英昭	産業地域振興部長
福井 康晴	人権環境部長
星川 修	福祉子ども部長
藤田 佳也	健康長寿部長
平野 裕之	理事
小野 孝司	技監
五十嵐 司	建設部長
米田 晃之	都市整備部副部長
畑下 茂生	議会事務局長
山田 雅彦	上下水道部長
伊賀 和彦	教育部長
梅永 聖児	消防長

・総合計画審議会事務局

遠坂 尚	所管副部長(政策経営部副部長)
大北 浩之	審議会事務局長(経営戦略課長)

佐々木 卓也	担当者(経営戦略課)
服部 和夫	担当者(経営戦略課)
藤丸 博克	担当者(経営戦略課)
大西 太基	担当者(経営戦略課)
小松原 紀一郎	担当者(経営戦略課)

計 25 名

< 審議会次第 >

1. 開会
2. はじめに
3. 議事
  - (1) 基本構想の方向性について
    - ・目指す都市像について
    - ・まちづくりの方向について
  - (2) 中期計画の取組について
4. 閉会

<会議内容>

## 1. 開会

### 【委員長】

それでは、定刻になりましたので、第3回総合計画審議会を開会します。まず、会議の開会に際しまして、連絡事項をお伝えします。現在、京都府に緊急事態宣言が発出されていますため、本日の審議会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため傍聴は中止します。

## 2. はじめに

### 【事務局】

今回の審議会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインでの開催とさせていただきます。それでは、会議を進める前に欠席者のご報告をさせていただきます。

◇欠席者の報告(牧紀男委員、土井邦紘委員、吉村優一委員計3名)

本日の第3回総合計画審議会の進め方を説明します。今回の審議会では、基本構想の方向性と中期計画の取組の2つの議題についてご意見を頂きたいと考えています。

1つ目の基本構想の方向性(目指す都市像とまちづくりの方向)は、12年後の将来像とまちづくりの方向性を示すものです。本日は、基本構想の方向性を固めていくため、事務局から提示しています方向性案についてご意見を頂きたいと考えています。中期計画は、基本構想を実現するための4年間の具体的な取組を示すものです。その中でも重点的に取り組むべきことについてご意見等を頂きたいと考えています。

### 【委員長】

会議の開会にあたり、松村市長よりご挨拶をお願いします。

◇市長より開会挨拶

本日はご多用の中、前回同様オンラインでの開催になりましたが、宇治市の第3回総合計画審議会のために、多くの委員の方にご参加頂きありがとうございます。

これまでの間、市民の皆様からはたくさんのご意見を頂いています。また、前回の審議会でも委員の皆様から数多くのご意見を頂きました。これらのご意見を踏まえ、今回は基本構想の

方向、つまり、今後どのようなまちづくりをしていくのがよいかについてご議論頂きたいと考えています。

皆様一堂に会してご議論頂ける会議を1日も早く開催できるよう、市としてもワクチン接種を積極的に進めていきます。本日はリモート会議になりますが、皆様の忌憚のないご意見を頂ければと思います。以上をもって開催にあたってのご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願ひ致します。

### 3. 議事

#### (1) 基本構想の方向性について

##### ・目指す都市像について

##### 【委員長】

先ほど、事務局からも説明がありましたとおり、本日は2つの議題があります。

1つ目は基本構想の方向性について、2つ目が中期計画の取組についてです。1つ目は目指す都市像とまちづくりの方向性についてですが、どちらも総合計画の根幹にかかわる重要な議題であるため、2つに分けて議論を進めていきたいと思ひます。

それでは、基本構想の方向性の目指す都市像について、事務局より説明をお願ひします。

##### 【事務局】

今回の審議会は、基本構想の方向性の案を提案させて頂いています。また、次回は8月あるいは9月頃の開催を予定しております。

それでは、各資料のご説明をさせていただきます。

《資料①総合計画の策定スケジュール》

《資料②基本構想の方向性について》

《資料③総合計画の策定にあたって踏まえるべき社会潮流》

《資料④総合計画策定のためのアンケート調査》

##### 【委員長】

目指す都市像についてご説明頂きました。事務局からの説明に対してご意見やご質問がある方はご発言をお願ひします。

**【委員】**

市役所に行く時に近鉄大久保駅からバスを利用していますが、概ね1時間に3便のペースで運行されています。アンケート調査の結果では、交通の施策の満足度が前回調査の結果より低いという説明がありましたが、主力となる京阪バスについて、市からの補助・助成などがありますでしょうか。

**【事務局】**

現時点で京阪電鉄や京阪バスに対する直接的な補助・助成は実施していません。

**【委員】**

前回のアンケート調査の時と比べて、どの程度バスの本数が減ってるでしょうか。

**【市長】**

バスの本数などに関する資料が手元にないためわかりかねます。

**【委員】**

京都市の中山間部で京北地域のコンソーシアムに参加していますが、高齢化による免許返納やバスの便数減少による事業者の経営悪化、本数減便・運賃値上げなどのマイナスのスパイラルに入っているため、喫緊に取り組むべき課題であると感じました。

**【委員長】**

交通については、市民の関心が高いですが、バス路線や特定の交通網を具体的にどうするかは、今後重点施策を検討していく上で重要になると考えます。人口減少の中で、公共交通サービスが縮小傾向になることが全国的にみられますが、それを踏まえて、どのようなまちをつくっていくかが重要なポイントになると考えます。

**【委員】**

目指す都市像が3つ提示されていますが、1つ目と2つ目は内容が近いと思います。言葉としては「一人ひとりが輝く」「歴史・伝統」「新しい息吹を紡ぐ」という表現の1つ目の目指す都市像がよいと考えます。

**【委員】**

目指す都市像の3つの案は、いずれも参考としているキーワードが「歴史・文化」「新しい」「つながり」など同じになっています。3つのフレーズの違いについて説明をお願いしたいです。

**【事務局】**

目指す都市像は、大きな方向性を示す表現になっています。また、「宇治らしさ」「新しい」など宇治市として外せない言葉を残し、表現の仕方を変えたものが提示しているフレーズです。

**【委員長】**

目指す都市像の基本的な考え方は共通しており、表現や言葉遣いを変えて設定しているため、違いを説明することは少し難しいと思います。

**【委員】**

「宇治らしさ」という言葉が資料に掲載されていますが、「宇治らしさ」とは何でしょうか。資料②の2頁をみると、現在の総合計画では「歴史香るみどりゆたかで快適なまち」となっています。また、資料③の1頁に総計の柱に「宇治らしさ」と記載されており、人口指標に繋がっています。「〇〇らしさ」という表現は、全国どこでも使われる表現ですが、「らしさ」の内容がきちんと説明できなければ理念が不明確になる可能性があると考えます。

「歴史香るみどりゆたかで快適なまち」が「宇治らしさ」の中核になってくると思います。「宇治らしさ」は、どこかで使えばよいが、最初に使うと後がぼんやりするため、「歴史・文化」「自然」など具体的な言葉を使う方がよいと思います。

**【委員長】**

「宇治らしさ」という言葉は便利であるが、曖昧な表現であると思います。

**【事務局】**

「宇治らしさ」については、資料②の6頁に「宇治らしさが輝くまち」の「考え方」に記載していますとおり、「お茶」「歴史・文化」などが宇治市として欠かせないものであると理解しています。

ご指摘のとおり「宇治らしさ」は、人それぞれ捉え方が異なるため、委員の皆様からの意見を踏まえて、より宇治らしさが伝わるよう、今後、表現や使い方、定義などを検討します。

**【委員長】**

「宇治らしさ」という言葉は、安易に使用するのではなく、「どこで」「どのように」使用するか留意頂ければと思います。

**【委員】**

「一人ひとりが輝く 伝統と新たな息吹が紡ぐまち」のフレーズがよいと思います。ただし、まちづくりの方向の「誰もが活き活きと活躍できるまち」と「活力があふれるまち」は、同じような方向性であると思います。

また、目指す都市像のフレーズの「紡ぐ」という言葉について、「紡ぐ」ためにどうすればよいかをまちづくりの方向とつなげた方がよいのではないかと思います。新しいフレーズであるため、フレーズの実現のためにどうすればよいかをまちづくりの方向で具体的に記載できればと思います。

資料④のアンケート結果の資料が見にくいです。前回の調査結果から満足度と重要度にどのような変化があったかが一目でわかるような見せ方をしてもらえると、次の議論の検討に活用できると考えます。

**【事務局】**

アンケート調査の結果は、前回調査の結果を比較して、次回ご確認頂けるような資料の配布を検討します。

**【委員】**

目指す都市像のフレーズの1つ目と2つ目は「息吹を紡ぐまち」「芽吹きがつながる都市」という表現は消極的な印象があります。「生み出していく」「作り出していく」という気持ちが前に出るフレーズにする方がよいと思います。

**【委員長】**

もう少し元気に前に進むということが伝わるような表現がよいのではないかというご意見でした。

**【事務局】**

前向きにということは取り入れたいと考えており、新しいものを取り入れる、新しく生み出せるものという表現を念頭に整理していきたいと思えます。

**【委員】**

「宇治らしい」「地域コミュニティ」などの話が出ていましたが、自分自身が若い頃から親が近所に料理を配ったり、もらったりしており、それが宇治らしさであると思えます。最近では地域コミュニティが崩壊しつつあるため、地域づくりに関する取組が重要であると思えます。

**【委員長】**

基礎自治体として地域コミュニティは重要であり、まちづくりの方向性の中でも重要な要素になると思えます。

**【委員】**

「宇治らしさ」は「お茶」「歴史・文化」であると思えますが、今回のフレーズにはそのような言葉が入っていないと思えます。お茶は、全国で3%程度しかとれないにも関わらず、「お茶といえば宇治」と言ってもらえるブランド力があるため、「お茶」「歴史・文化」という言葉をフレーズに入れるのがよいと思えます。

**【委員】**

「古き良き宇治市」は、地域コミュニティという理解でよいでしょうか。また、人口減少は重要な課題ですが、税収が減少することに関する資料を提供してほしいです。前回の審議会でキーワードを出したと思えますが、どこに使用されているか知りたいです。「市民参画」について、条例などで定義が定められているか確認したいです。

**【事務局】**

「古き良き宇治市」は、地域コミュニティも含めています。これは、まちづくりの土台となる取組であると思えます。また、「お茶」「歴史・文化」も含めています。

税収の見通しは、次回、中期計画の提示の際に財政見通しの提示を予定しています。

審議会で頂いたキーワードについては、多岐に渡るキーワードを頂いています。その中で「お茶」「歴史・文化」「新しい」「チャレンジ」などを中心に「古いものと新しいものの融合」を意識してフレーズを整理しています。

## 【委員】

第1期中期計画の4年間で「私が考える宇治らしさ」をテーマとして、市民が意見交換や交流をし、さまざまな角度から深めてもらうという取組を提案します。

目指す都市像のフレーズは、3つの案で共通している「新しさ」「伝統」「1人ひとりを大切に」が含まれば表現は今後検討でよいと思います。個人的には「息吹く伝統と新しさが彩るまち、私たちの宇治」などのフレーズ案を提案します。「私たちの宇治」という言葉で市民参加・参画や1人ひとりの尊重を表現できると思います。

まちづくりの方向では、活力・活躍という表現が使用されていますが、内容が明確でないことが多いです。例えば、「活力＝経済」「活躍＝人材」がイメージされますが、より具体的な表現を検討していく必要があると思います。

また、3案に共通している副題(サブタイトル)は、個人的にはインパクト、魅力が弱いため付けなくてもよいと思います。

最後に、交通についてですが、住民の移動(目的、ルート、手段、どこへ)などを分析・整理する必要があると思います。宇治市の各エリアの機能(市民生活上の機能)を踏まえて、都市基盤整備に関することも抑えながら総合計画を考えていくことが必要であると考えます。

## 【委員長】

目指す都市像のフレーズについて、主語を明確にしてはどうかというご意見であったと思います。「市民参画」「市民の主体性」「主人公としての市民」などフレーズに反映することも1つの方法であると考えています。

まちづくりの方向に関する意見も一部頂いていますため、事務局からまちづくりの方向についての説明をお願いします。

### (1) 基本構想の方向性について

#### ・まちづくりの方向について

## 【委員長】

まちづくりの方向について5つとその土台となるものについて説明を頂きました。先ほどの目指す都市像の実現のための5つの分野で進めていくという構成になっています。まちづくりの方向についてご意見等がある方はご発言をお願いします。

## 【委員】

5つの方向とベースとしての市民と行政の協働などがありバランスが取れた構成となっていると思います。現行総合計画に入っている環境問題(地球温暖化やカーボンゼロなど)が重要であるが弱い印象です。安心・安全の中に含まれると考えられるため含める方がよいと考えます。

**【委員長】**

確かに環境問題に関するキーワードがなく読み取りにくいように感じます。

**【事務局】**

環境問題は安全・安心に含まれると考えています。ただし、キーワードとしては見える形で入っていないため検討します。

**【委員】**

前回、方針やビジョンを出す際に、市民憲章などの基準があるため、可能な限り、わかりやすく整合性をとったものとしてほしいという意見を出しました。今回、提示頂いた内容は落とし込んで頂いていると思いますが、市民憲章には市民の責務などを謳っている部分があるため、市民に将来に対する危機感を持ってもらうことも必要であると考えます。そのため、危機意識を市民に落とし込めるような項目を入れる方がよいと考えます。

資料②の6頁の具体的な内容(案)に行財政運営を都市経営に表現を変更し、厳しくなることを優しい言葉で掲載するのがよいと思います。また、バスについて、便数ではなく、始発・最終の利用率の低さ、祝日(40分に1本)と平日の便数の格差などを調整すれば利用用途が広がると考えます。

**【委員長】**

まちづくりの方向に危機感を入れるのは難しいかもしれませんが、夢物語だけではいけないと思いますので、計画づくりの中で工夫していく必要があると考えます。

**【委員】**

まちづくりの方向に「健康」という言葉がないと思います。これからの社会は、ゆとりのある健康と福祉が大切であると考えます。活躍という言葉が出てきますが、生き活きと活躍は同じ意味であり「せわしない」「追い立てられる」ような印象を持ちます。「生き活きと生活できる」のような表現の方がよいのではないのでしょうか。

活力あふれる部分での移動手段の確保は、公共交通だけではなく、高齢者は近くのもので歩くことが難しくなると考えられます。今後は、パーソナルモビリティを活用し、自由に市内を移動できるような手段の確保が必要であると考えます。「活力あふれる」は地域(福祉)の活性化、地域コミュニティをしっかりと作り上げることが活力につながると思います。

#### 【委員】

まちづくりの方向は、わかりやすい言葉で整理頂いていると感じました。上から2つ目の「子育て」と「子育て」の環境充実について、子どもたちが自分自身で生きていく力を付けていくという「子育て」という言葉を使用している点、素晴らしいと感じました。

また、誰もが活き活きと活躍できるまちもよいと思いますが、活躍する前提に「心身の健康」があるため、「心身ともに健康」という言葉を入れてほしいです。健康長寿日本一も掲げられており、市民も使っているため、このような市民にわかりやすい言葉を入れてほしいです。

4つ目の活力があふれるまちも重要であると思いますが、先日、任天堂の資料館が小倉にできると聞きました。今後、間違いなく宇治は「世界の宇治」になっていくため、「宇治らしさ」は変化していくと思います。これまでのものを大切にしながら「宇治らしさ」は変化させていく必要があると思います。この変化していく「宇治らしさ」を学校や地域などさまざまところで前向きに議論していければと思います。

#### 【委員長】

「健康」がキーワードとして重要になると思います。活躍できることは活き活きしているということであるため、各委員の発言を参考に表現を検討頂ければと思います。

#### 【委員】

資料②の3頁の図ですが、5つの方向の下に中期計画の取組が並んでいますが、それぞれの方向に対応する取組があると読み取れます。しかし、まちづくりの方向の内容は、より広い取組に関わってくる内容であるため、方向と取組を対で紐づけるという単純な構成にならないように留意して頂きたいです。

#### 【事務局】

健康については、活き活きと活躍に含める方がよいと思います。また、構成については、次回に向けて検討していきたいと考えています。

**【委員】**

前回の議論では、「まちづくり」「ひとづくり」「地域づくり」という言葉が出ていました。その中に「ひとづくり」「地域づくり」が感じられるような言葉を方向に入れるのがよいと思います。

**【委員長】**

キーワードとしては、「まちづくり」「ひとづくり」「地域づくり」という言葉が出てきましたが、まちづくりの方向で使用している「まちづくり」は、一般的名詞としての「まちづくり」と捉えていると思います。一般的に「まちづくり」という言葉の「まち」は広い概念です。宇治市という行政区画、人が暮らす場、住んでいる人の活動や暮らしそのものなど広範囲な概念です。例えば、子育て・子育ては「ひとづくり」も関わっているなど、「地域づくり」は明確に読み取れないが意図としては含まれていると思います。

**【委員】**

普段、子育て支援に関わっているが、子育て・子育て環境が充実したまちに関する話をしたいです。前回、「ワンストップで切れ目のない支援」という話をしましたが、もちろん「誰もが生き生きと活躍できるまち」にも使えると思いますが、子育てにおいて「ワンストップで切れ目のない支援」が必要という意味で発言しました。子育て環境を整えることが大事なキーワードであるため入れるのがよいと思います。また、考え方については、「人口減少・少子高齢化の中、これからの未来を担う子ども達をまちをあげて育てること」と「子ども達自身が立ち立つ」が一足飛びになっている印象であるため、その過程である「子育て家庭のサポートも充実したまち」ということをアピールできればよいと思います。

心身ともに健康ということも目標としては大切ですが、健康がかなわない人も中にはいるため、「健康＝正解」ととられない発信の仕方が必要であると考えます。

**【委員】**

コミュニティという言葉がたくさん出てきますが、宇治市で生活している最小単位のコミュニティは自治会・町内会です。宇治市が自治会・町内会をどのような位置づけで考えているか知りたいです。将来的に、財政面でも既存の自治会・町内会を上手く活用する方が有効であると考えます。自治会・町内会の位置づけをビジョンに含める方がよいのではないかと思います。

**【委員】**

宇治市では、令和4年度にコミュニティスクール構想があるため、子育て・子育て環境の充実において「地域コミュニティ」というキーワードが関係すると思います。自治会・町内会について具体的なイメージに入るとよいと思います。

**【委員】**

若者の視点から、資料②の6頁の「誰もが生き活きと活躍できるまち」「活力があふれるまち」の違いがわかりにくいと感じました。「活力」の意味がわかりにくい、伝わりにくいため、具体的なイメージを反映させるとよいと思います。

**【委員長】**

「活力があふれるまち」が何を示しているかがわかりにくいという意見であったと思います。活力は経済的な活力をイメージされる方が多いですが、人により、世代により、捉え方が異なるため留意が必要と考えます。

**【委員】**

現行の総合計画を見直した時に、数値化された目標がないと思いました。人口減少は10年後に18万人を目指し現在の目標が何人、健康寿命は現在何歳で目標は何歳ということを謳っていく方がよいと思います。満足度でしか示せない数値もあると思いますが、アンケート調査で数値を取得し、数値化できるものは可能な限り数値化していくことを取り入れてほしいです。

また、先ほどお話のありました任天堂の資料館は、これまでのものづくりの産業からアニメなどの新しい文化が宇治市から発信されてもよいと思います。

**【委員長】**

目標の達成状況を数値化した指標でチェックしていくことの重要性に関するご意見でしたので、今後の計画策定において考え方や手法を上手く取り入れて頂ければと思います。

ただし、指標化し評価しようとする場合、政策目的を明確にし、目的が達成できているかを判断する適切な指標を設定し、定期的に数値を確認していく必要があるため、計画づくりは非常に重要な作業になると思います。

**【委員】**

資料④の7頁に年齢別、居住地域でデータがありますが、70～80歳以上は全体割合を上回っており、20～60歳代は下回っています。また、地域別では、六地蔵地域と小倉地域が全体割合を下回っています。年代や地域により全体割合を上回る・下回るという状況を確認し、8頁の重要度と満足度について、重要度が高いが満足度が低い施策を見ると具体的な指標になっていくのではないかと考えます。

**【委員長】**

具体的な計画の内容を検討していく中で貴重な意見を頂いたと思います。アンケート結果を十分に活用し、計画策定につなげて頂きたいです。

**【委員】**

より具体的な内容がないと、気持ちよい言葉が並んでいるだけでわかりにくいという印象です。誰が見ても具体的なイメージが湧くよう言葉を使う方がよいと思います。

また、資料について、文字を大きくしてほしいです。黄色の枠に白抜きは見にくいです。

今後、IT関係でまちが活性化していくと考えられますが、Society5.0、DX、SDGsなどの話はわかりにくいいため、だれもがわかる言葉で示す必要があると思います。

**【委員長】**

資料の読みやすさ・見やすさは今後の課題としてご検討頂きたいと思います。

また、用語について、国が発信している言葉もあるため、宇治市だけ使わないということではできないが、できる限りわかりやすい言葉や表現に配慮をお願いしたいと思います。

**【委員】**

「安全・安心」がすべてのベースになると思いますが、出さないわけにもいかないため、すみわけを明確にすることが必要であると思います。総合計画であるため、わかりやすく見やすくすることは必要ですが、各分野の計画を網羅できているか考える必要があると思います。各分野と個別分野計画の関係図を示してほしいです。

**【委員長】**

考え方の中で事務局からの説明で総花にならないようメリハリをつくるという説明がありましたが、一方で総合計画であるため、下位計画にあたる個別分野計画との関係を整理頂ければと思います。

**【委員】**

総合計画に10年間取り組むため「人づくり」がベースであると考えています。最終的には隣近所などの人と人のつながりがあることが重要であると考えています。

現在、小学生の方が10年後、宇治市に住むか、市外に転出するか迷った時に、宇治市にとどまって住もうと思ってもらうため、土台となる市民と行政の協働に含まれると思いますが、人づくりを全面に打ち出してほしいです。

**【委員】**

まちづくりの方向について、市民と行政の協働が土台として位置付けられていることは大きいと思います。それに関連して、目指す都市像で「一人ひとりが輝く」が土台と連動していればよいと思います。「1人ひとりのチャレンジが報われるまち」「チャレンジに優しい」というような新しいことに挑戦することに優しい、新しいことに挑戦しやすいということがフレーズで表現できるとよいのではないかと考えます。

**【委員】**

警察や消防など広域行政となっている取組は、南部のリーディング都市として含めるのがよいと思います。

**【委員長】**

広域や周辺市町村との連携はどこかに含める必要があると考えます。

目指す都市像やまちづくりの方向について、本日頂いた意見を踏まえて、基本構想案を提案頂ければと思います。

続きまして、重点施策について事務局から説明をお願いします。

**(2) 中計計画の取組について**

**【事務局】**

第4回審議会に向けて、特に力を入れていく必要がある取組について検討していきますが、重点施策に関する視点などについてご意見いただければと思います。

**【委員長】**

今後4年間で力を入れていくべき取組について、重要な分野や視点についてご意見を頂ければと思います。

**【委員】**

市民参画の仕組みがないと思います。取組の都度、募集している印象を与えていると思います。市民参画条例や自治基本条例などを定めて市民の役割と行政の役割を明確にすることが必要と考えます。

**【委員】**

1点提案をさせて頂きたいです。これからこの議論に入ると時間が足りないため、事前に配布頂いている「意見シート」に意見を記載して提出し、事務局で意見を整理する方がよいと思いますがいかがでしょうか。

**【委員長】**

ご提案頂きましたように意見シートで各委員のご意見を頂ければと思います。また、メールやFAXでも結構です。委員の皆様からの意見を踏まえて、事務局で基本構想案を作成し、次回の審議会にかけて頂くことになると思います。

#### 4. 閉会

**【委員長】**

それでは、予定していた議題は以上になります。  
閉会にあたり松村市長からご挨拶をお願いします。

◇市長よりご挨拶

大変多岐に渡り、また、さまざまなご意見を頂きありがとうございます。リモートでの会議のため、皆様のご意見がダイレクトに届いていると思います。

「宇治らしさとは何か」については、本来であれば、コロナ禍でなければ、さまざまな機会・場所を設定し、宇治らしさを協議すべきと考えています。ただし、宇治市と言えば、「お茶」と「歴史・文化」はベーシックなものであり、それに加えて、新たなものにチャレンジし織り込んでいくことが今後の方向性と考えています。

今回頂いたご意見・ご提案を踏まえて、次回、基本構想案、中期計画の重点施策案を提案させて頂きたいと思います。

コロナ禍が収束すれば、広く多くの人意見を伺う機会を設定し、これからの計画を作りたいと考えています。簡単ですが、本日の御礼も兼ねて、挨拶に代えさせて頂きます。本日はありがとうございました。

**【委員長】**

それでは、以上をもちまして、閉会とさせていただきます。

---了---